

広島市植物公園見どころ案内

オキナグサ 翁草 (キンポウゲ科) チョコレート色の花びらは、じつはガクで、花びらはありません。全体に白い毛があります。糸の束のような果実が茶色から白に変わり、おじいさんの白髪に見たてて名がつけました。翁とはおじいさんのことです。

カタクリ (ユリ科) 愛らしいピンクの花がロックガーデンのあちこちに咲いています。すべて種から育てられたものです。小さな一枚葉は、こぼれ種から出た幼葉です。花が咲くのに7年かかるそうです。

イワヤツデ (ユキノシタ科) 葉がヤツデに似ていて岩場に生えているので名がつけました。中国原産。

プセウドボンバクス (パンヤ科) サボテン温室で、花がつぎつぎと咲いています。大小の黒つぶいかたまりは、つぶみです。白い糸を束にしたような花の形から英名はシェーピングブラシツリー(ひげそり用ハケの木)。白い糸はおしべです。少し長い1本がめしべ。

ヒスイカズラ (マメ科) フィリピン原産の、青い花をつけるつる植物です。大温室2階の一番奥に長い花房がぶら下がっています。つぎつぎと咲いて5月初めまで楽しめます。

桜 (バラ科) 芝生広場周辺には、約60品種の桜が植えられています。3月初めに咲く寒緋桜から4月初めの染井吉野、半ばの八重桜、終わりの菊桜まで、2か月間も楽しむことができます。

アブラチャン (クスノキ科) 落葉した林の中に数本あり、黄色い花が目立ちます。

シロモジ ダンコウバイ (クスノキ科) 花だけの今はアブラチャンによく似ていて、3種の見分けはむずかしいですが、葉が出る時と形で区別できます。3種とも雌雄別株。

檜 (ツバキ科) ツバキ園では大輪の園芸品種が見ごろになりました。道を隔てた急斜面に植えられている欧米で作られた園芸品種は、特に大きくて色もあでやかです。

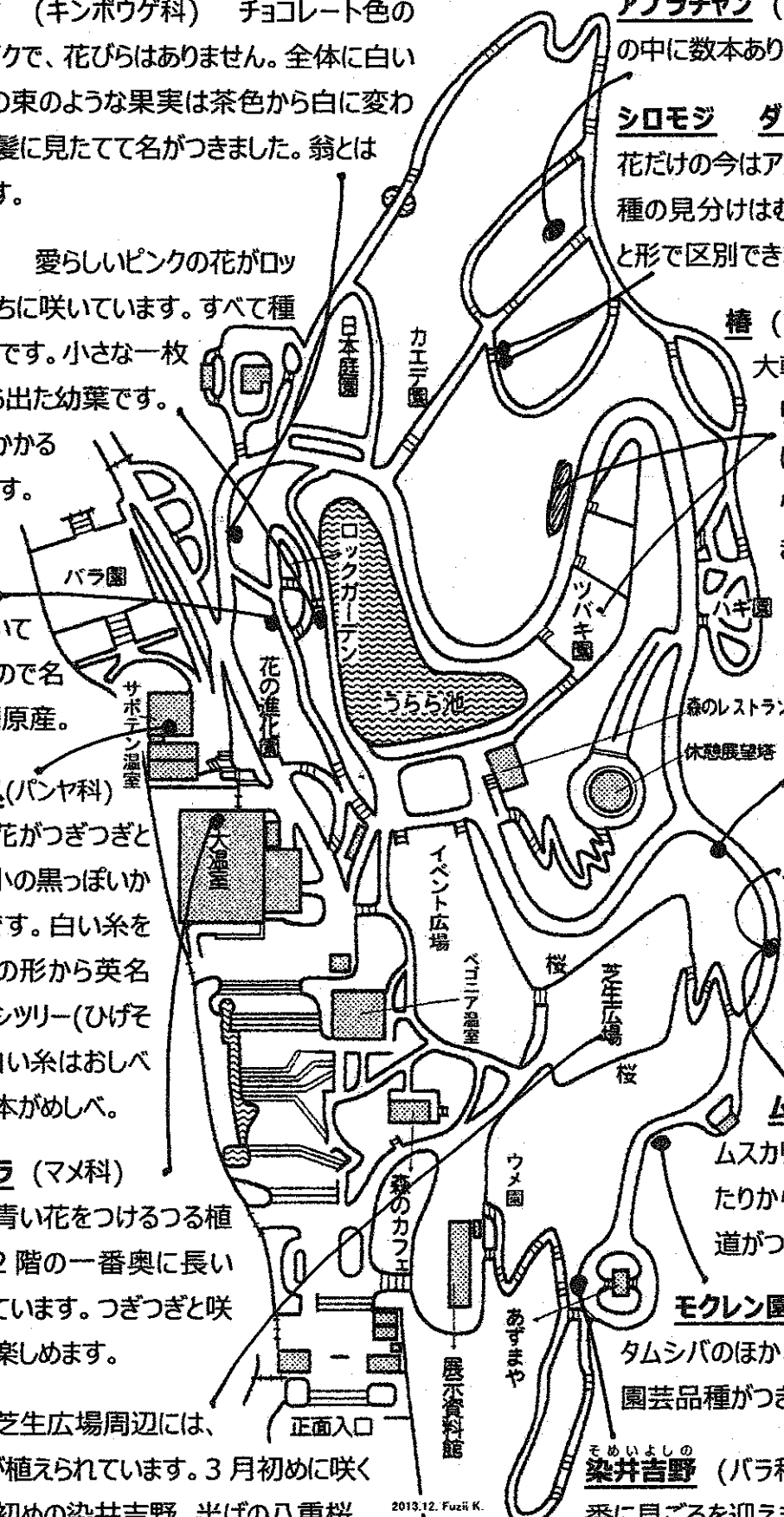
ベニバナトキワマンサク (マンサク科) 名は紅色の森のレストランの花が咲く常緑のマンサクの意味です。トキワマンサクは白い花が咲きます。

レンギョウ (モクセイ科) 黄色い花が満開です。レンギョウ、シナレンギョウ、チョウセンレンギョウと、園芸品種が植えられています。

ムスカリ (ユリ科) ムスカリロードの復活です。このあたりから、あずまやまで紫色の小道がつづいています。

モクレン園 (モクレン科) コブシやタムシバのほか、ハクモクレンや色とりどりの園芸品種がつぎつぎと咲いています。

染井吉野 (バラ科) あずまやの周辺が一番に見ごろを迎えます。ムスカリロードを歩いてモクレンの林を通り、足をのばしてみませんか。



2013.12. Fuzii K.